

平成25年度アワビ種苗の搬入及び配布について

目的

東日本大震災により種苗生産施設が被災し、種苗生産を行うことが出来ません。
そのため、宮城県では将来、アワビ資源が落ち込むことが懸念されていることから、種苗生産体制が整うまでの期間、国が行っている「被災海域における種苗放流支援事業」を活用して、他県からアワビ種苗を導入して放流しています。
当協会も宮城県と連携して、北海道からの種苗搬入並びに石巻での配布を行いました。

搬入元

- ① 公益社団法人 北海道栽培漁業振興公社 熊石事業場
サイズ：25～30mm種苗 300,000個
 - ② 北海道奥尻町あわび種苗育成センター
サイズ：50mm種苗 33,000個
- 合計 333,000個

搬入日時及び場所

平成25年6月26日（水）午前9時に宮城県漁業協同組合本所（石巻市開成）に到着、各支所当では配布されたアワビ種苗を持ち帰り、直ちに地先海域に放流した。



150個づつネットに入れられた50mm種苗
（奥尻町）



梱包作業
（奥尻町）



5℃に冷却されたトラック荷台に積み込み。150個/籠（奥尻町）

※ 輸送温度は10℃になるよう設定した。

確認作業



函館港での青函フェリー出航前の点検 (PM10:30)
トラック荷台の温度が10℃に保たれているか確認

配布状況



6月26日 午前9:00 到着

宮城県漁業協同組合本所 (石巻市開成)

アワビの状況確認
活力良好であった。



各支所等への配布

- ・アワビサイズごとの個数確認
- ・輸送籠から各漁協支所等へ保冷箱に移し替え、保冷剤を入れて配布した。

※アワビ種苗の導入にあたっては、系群 (遺伝的な攪乱をおこさないこと)、
病気の発生がないことを確認した上でを行っています。